



# ピックスロットルボディキット 取扱説明書

商品番号 : 03-05-0097  
適応車種 : モンキー(FI)  
R Stageボアアップキット取り付け車  
フレーム番号 : AB27 1900001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
  - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

FI CON PLUSは必ず取り付けして下さい。エンジンが始動出来ません。  
Rステージ装着車用FI CON PLUS(03 05 0017)を使用されている方でピックスロットルを使用する場合、ピックスロットル対応の新プログラムへバージョンアップする必要がありますのでコントローラー本体を弊社まで送って頂く必要があります。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。  
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。  
取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。  
ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。  
燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。  
このパーツはクロード競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。  
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

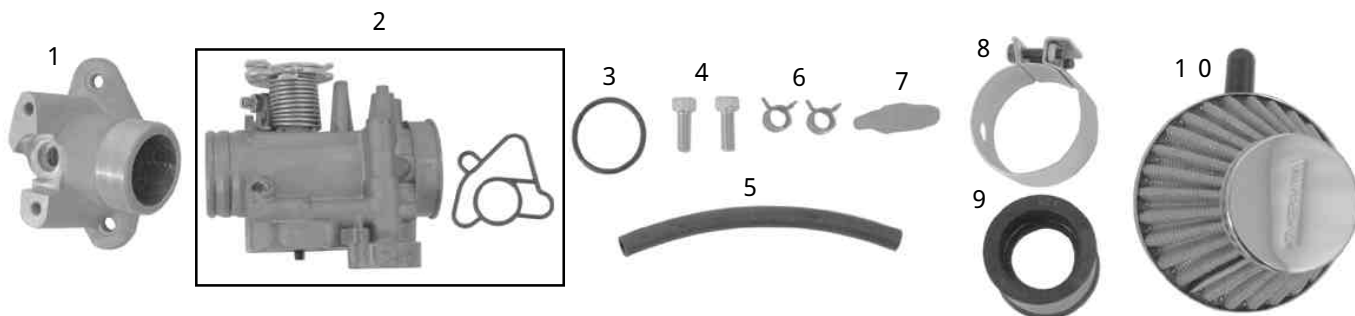
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- ・エンジンの回転中は、スロットルボディ吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射することがあり、大変危険です。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。  
この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～商品内容～



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	インテークマニホールド	1	17112 GBJ T02	1
2	スロットルボディ(リング付属)	1	00 03 03 21	1
3	Oリング 30mm	1	00 00 04 17	3
4	ソケットキャップスクリュー 6×18	2	00 00 05 77	4
5	チューブ	1	T 5X9 01 25	1
6	ホースクランプ	2	00 00 02 16	4
7	ホースコネクター	1	00 00 02 20	1
8	インシュレーターバンド	1	00 03 03 22	1
9	インシュレーター	1	17113 GBJ T00	1
10	エアフィルター 42mm	1	03 01 10 6	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

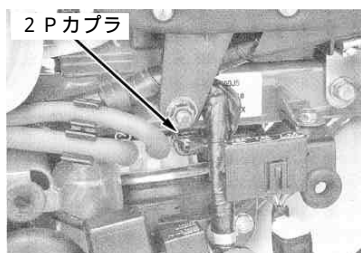
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

## ～取り付け要領～

### スロットルボディの取り外し

サービスマニュアルを参照し、スロットルボディを取り外します。

サイドカバーを外し、メインスイッチをOFFにし、フュエルポンプユニット2Pカブラの接続を外します。



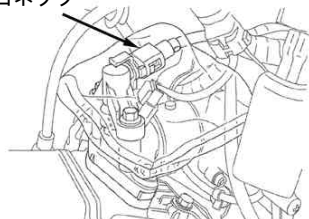
2Pカブラ

メインスイッチをONにし、キックで5回以上クランクし、フュエルホース内の燃圧を抜きます。

メインスイッチをOFFにします。

フュエルホースを取り外す際に、異物がホース内部に入らない様コネクター周りをエアブローし、コネクターの周りをウエス等でカバーします。

クイックコネクター



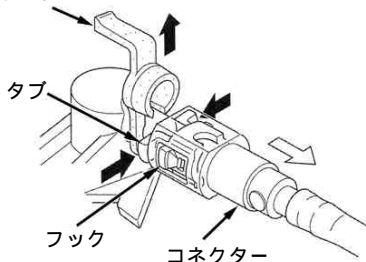
クイックコネクターを保持し、リテーナーのタブを押しリテーナーのフックをコネクターの穴から外し、クイックコネクターを引き抜き取り外します。

取り外しは手で行い、工具等は使用しないで下さい。

フュエルホース内のガソリンを適当な受け皿で受けて下さい。

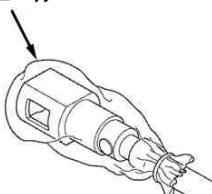
△注意：ホース、クイックコネクター、インジェクタージョイントを損傷させない事。

ジョイントラバー

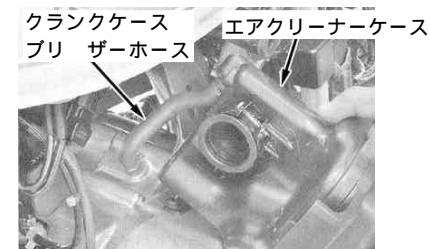


クイックコネクターのジョイント部に損傷やゴミの混入を防ぐ為、コネクターをビニール等で被う様にします。

ビニール



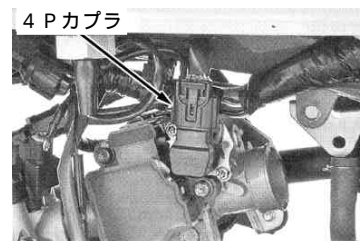
エアクリーナーケースを取り外します。



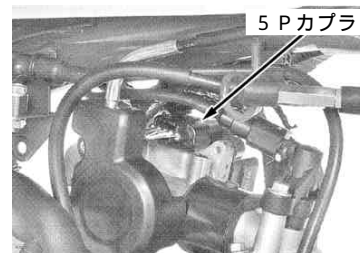
クランクケース  
ブリザーホース

エアクリーナーケース

4P、5Pカブラの接続を取り外します。

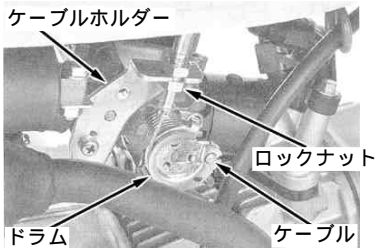
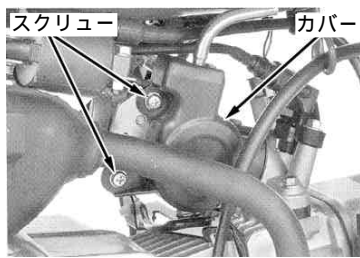


4Pカブラ

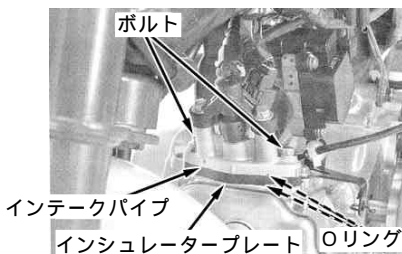


5Pカブラ

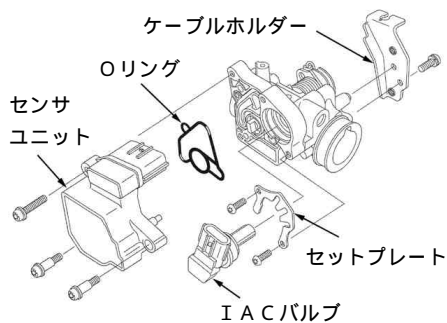
スロットルドラムカバーを外し、スロットルケーブルを取り外します。



インテークパイプの2本のボルトを外し、スロットルボディを取り外します。



ノーマルスロットルボディよりセンサユニット、アイドルエアコントロールバルブセット、ワイヤースターを取り外します。センサユニットの取り外しにはT型トルクスレンチT25、アイドルエアコントロールバルブセットの取り外しには、いじり止めトルクスレンチT20が必要になります。



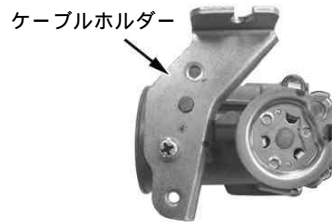
### スロットルボディの組み立て

取り外したセンサユニット、ケーブルホルダーをキット付属のビッグスロットルボディに組み付けます。スロットル開度センサのクリップとスロットルバルブの突起を合わせながら、センサユニットをスロットルボディに取り付けて下さい。

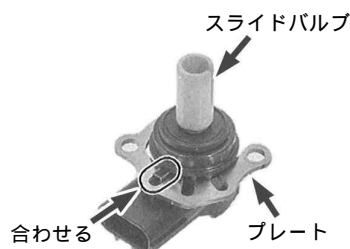
△注意：センサユニットのOリングを正しく取り付けなければ、アイドルリング不調の原因となります。

スクリューを取り付け、規定トルクで締め付けます。

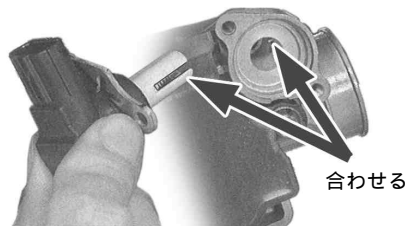
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
T25：3.4 N・m  
(0.35 kgf・m)



アイドルエアコントロールバルブをキット付属のビッグスロットルボディに組み付けます。プレートをIACバルブに取り付け、下図のようにプレートの溝を合わせます。



スライドバルブの溝をスロットルボディのピンに合わせ、IACバルブを取り付けます。



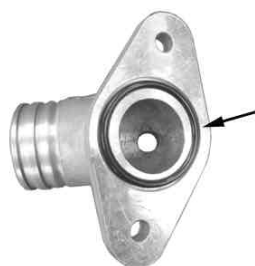
スクリューを取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
T20：2.1 N・m  
(0.2 kgf・m)

### スロットルボディの取り付け

マニホールドにOリング30mmを取り付け、シリンダーヘッドの取り付け規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



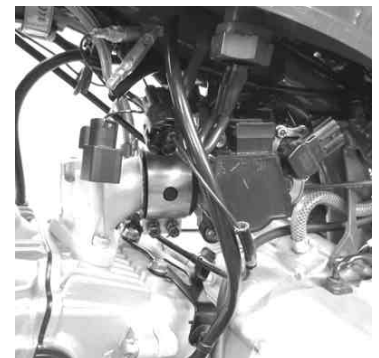
インシュレーターのTHROT BODY文字側をスロットルボディに合わせて回り止めの突起とインシュレーターバンドの穴を合わせて取り付けます。インシュレーターバンドの向きは写真を参考にして下さい。



ノーマルスロットルケーブルの場合、全長に余裕が無いのでケーブルガイドを通さない様に取り回しを変更します。



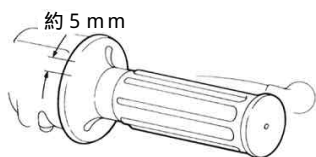
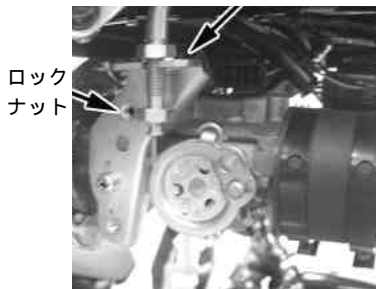
マニホールドに取り付け、インシュレーターバンドのスクリーンを仮締めします。



スロットルケーブルを取り付けスロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャストナットを調整します。ハンドルを左右いっぱい切った状態でスロットルケーブルに若干の遊びがある様、取り回しを調整します。

調整後はアジャストナットを固定し、ロックナットを締め付けます。  
スロットルを変更する場合は、使用するスロットルの指示に従って調整して下さい。

アジャストナット



スロットルを数回スナップさせ引っかけりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

スロットルワイヤーがフレームに干渉しない角度に合わせインシュレーターバンドを締め付けます。



スロットルケーブルカバーを取り付けます。スロットルケーブルカバーを取り付ける場合は一部加工が必要になりますので画像を確認して下さい。

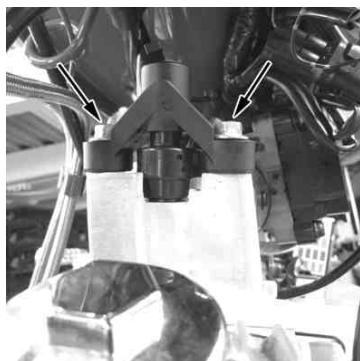


### インジェクターの取り付け

インジェクター上部のOリングとシールリングに薄くオイルを塗布します。マニホールドにインジェクター、純正インジェクタージョイントを取り付け、純正ボルトで締め付けます。

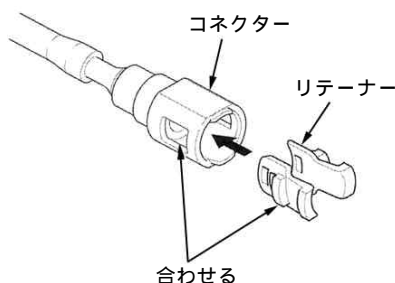
△注意：規定トルクを守る事。  
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

△警告：必ず純正ボルトを使用する事。  
不適切なボルトの使用は、純正インジェクタージョイント脱落の原因となり、重大な事故につながる恐れがあります。

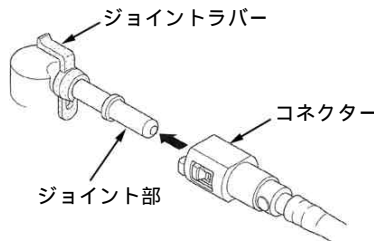


### フュエルコネクターの接続

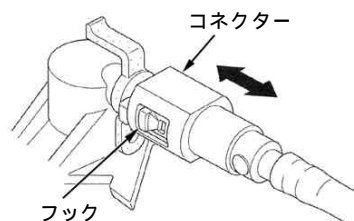
新品のリテナーのフックをジョイント部の穴に合わせ取り付けます。フューエルホースがフレーム、他のパーツに干渉しない様に注意します。



インジェクタージョイント部にコネクタが「カチッ」と音が出るまでコネクタを差し込みます。



リテナーのフックがコネクタの穴に入っている事を確認します。



エアフィルターを取り付け、バンドを締め付けて固定します。



ノーマルのホースとキット付属のチューブを適宜切断し、キット付属のコネクタで繋いでエアフィルターに接続して下さい。



ブローパイガスを還元する為、エンジンオイル等でフィルターが目詰まりしやすく、又、スロットルボディ内にスラッジが詰まりやすくなる為、オイルキャッチタンクの使用を推奨します。

最初に取り外したフュエルポンプユニット 2Pカブラを元通り接続します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721 25 1357  
FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL <http://www.takegawa.co.jp>